

椿や桜を植えました

2月27日、ボランティア団体「美しい三浦を創る会」が西三浦の国道沿いで第7回植樹祭を開催しました。



植樹祭には蒲野保育所の園児、三浦小学校の児童が参加し、園児・児童らが椿や桜の苗木106本を植えました。会長の吉兼洋一さんは「会員の皆さんのおかげできれいに整備することができました。今後景観をよくしていきたい。」と目標を語りました。

明新小学校屋内運動場が完成

2月28日、明新小学校屋内運動場の完成に伴い、竣工式が行われました。新しい屋内運動場は鉄骨造平屋建てで、延床面積は約498㎡です。照明はLED機器を使用し、ソフトバレーコート2面、ミニバスケットボールコート1面を確保し、教育環境の整った施設となっております。



▶ 竣工式の様子



地域おこし協力隊
三浦宏之

「お役に立てれば、幸いです。」 13

定住促進協議会日良居分室

☎0820(73)0234

2月は周防大島の自然を大切に思う大変興味深いイベントが数多く行われました。

周防大島ふるさとづくりのんたの会主催『竹問題講演会』景観生態保全論・柴田昌三教授のお話。里山救援隊による『延命の滝・里山里海ゼミナール』里山を舞台に「森は海の恋人」のフィールドワーク。美しい三浦を創る会の『美しい三浦の森づくり第7回植樹祭』は地域の子供達と椿や桜を植樹。国道沿いに海の景色が開けるとともに、新たに美しい森が生まれました。それら竹きり3団体の共催による「竹きり大会」では、竹の伐り方、運び方、片付け方などを実際の竹林に入り、汗をかき、学びました。

さらに、鳥スクエアでは、里海再生のスペシャリスト新井章吾さんによる海藻肥料のワークショップも。「捨てればゴミ、活かせば資源」とは、リサイクルや環境問題でよく使われる標語ですが、周

防大島が抱える多くの問題にもよくあてはまるような気がします。耕作放棄地、荒廃竹林、荒れた植林地、浜に打ち上げられる海藻や貝殻など、沢山の未利用資源があります。それらを活かした暮らしというものを考えていきたいと思えます。

そして、島の大切な資源、海の景観を美しくする活動「島くらす海そうじ」を毎月行っています。次回は、3月23日(日)午前8時より日前の白鳥ヶ浜を清掃します。ご近所にある島中小学校の駐車場を利用できますので、学校西側の正門集合でお願いします。雨天中止です。



▲2月22日
志佐で行われた竹きり大会の様子